

次期計画策定の上で、加えるべき視点について

(平成 23 年度第 2 回中小企業振興審議会 (11/8) 発言概要)

区 分	発 言 要 旨
長野県らしさ	<ul style="list-style-type: none"> ●「長野」という言葉を取ると、どの県でも使えるものに見える。長野にしかない強みを掘り下げるべきである。 ●長野県の強みは山がたくさんあり川も多いこと。小水力発電などの可能性も考えられる。 ●3つ産業分野については、長野県にしかないものが何かを考えていくことが大事である。 ●健康・医療分野では、全国に誇るべき大学や医療機関、健康食品の広い裾野、長寿県を支える高い県民意識などが強みとしてある。 ●今回の戦略では、長野県が長寿県であり、医療費も少ないという特徴をPRするべきである。 ●すでに種のある産業をベースにその付加価値化を進めるというアプローチは正しいが、各分野の例示については、もっと深く掘らないと長野県を支える産業になるかが見えてこない。 ●エコハウス、エコモビリティ、エコシティーといった私たちの生活に関係する分野に長野県の技術を活かしてほしい。 ●医療機器、食品関係機械は将来有望だと見ている。参入のためには、ステンレスの加工が必要であり、機械や刃物も選別など工夫が求められる。
対象とする産業分野・サービス分野について	<ul style="list-style-type: none"> ●商工労働部の縦割りの計画という印象を受ける。観光など他の分野について、もう少ししっかりと書くべきだと思う。 ●プランの対象を「ものづくり」というように狭くしてしまうと発展が無く、例えば、植物工場のようなものが抜け落ちてしまう。 ●国際競争にさらされる中では、製造業だけにとらわれず、広がりを持って考えないと遅れをとってしまう。 ●産業振興プランと言いながら、製造業だけに絞るのでは、誤解を与える。 ●ただ、ものを作るのではなく、どういうサービスを提供していくかという視点が必要であり、そのサービスを長野県で提供できるようになれば、ものづくりの価値も出てくると思う。 ●製造業を中心とした考え方は、どうしてもプロダクトアウト的になりやすく、マーケットが後回しになりがちである。 ●製造業だけ考えて、どのように売っていくかを考えないと、政策としては不十分になる。 ●介護機器の中には、凝り過ぎていて、かえって使いづらいものもある。現場と開発が、まだまだ繋がっていない事例がある。 ●介護医療分野では、ニーズを拾い、それを検証し、効果測定できるマーケットが県内にすでにある。

<p>プラン実効性 ・プロジェクトまでのつ ながり ・工程表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●3つの重点分野に、プロジェクトがどのように結びつくかを示すべき。 ●人材育成であれば、戦略に基づき、どういう人材を、どう育てるかまで示すべき。 ●県内でどう育て、どう国内、海外に展開していくかといった順序で考えていくべき。 ●重点プロジェクトは、時点の差を設けて、どれを優先し、どれを後にするといったことを考えるとよい。 ●それぞれの課題にあった工程表を作成するべき。早くできるもの、あるいは、5年後の最終年度に出来るものなど、示されれば良い。
<p>旗 印</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●旗印を立てることは、これらの分野に取り組む方々の後押しになる。 ●旗印であっても一律ではなく、それぞれの地域の特色を踏まえて、進めていってほしい。
<p>人材育成・雇 用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●介護現場では、きちんとした技術を持った人が求められている。人材育成についても踏み込んだプランでなければいけない。 ●技能五輪について、小中学生にもぜひ見ていただくような取組が必要。 ●高校生などが新しい技術・知識に出会う取組を進めていただきたい。 ●高校生の求人が安定し、きちんと長野県内で就職できるようなベースになる基本的な人材の育成についても進めていただきたい。
<p>海外展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今は、日本の製造業を転換する時。ひとつはアジアへの展開。 ●海外進出は悪いことばかりではない。やるべきことは積極的に展開するべきということ盛り込んだ方がよい。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●現プランの評価については、数値による定量的な評価が必要。 ●工場立地は土地も人も飽和しているので、今いる企業を転換するという発想が良い。 ●健康・医療分野では、県外からの誘致より、地元の企業を育てることが考えやすい。 ●かなり大胆な発想で戦略を作らないと、名門の長野県の製造業は凋落してしまう。この長期低落にどう対処するかがこの計画から見えてこない。もっとイノベティブな政策が必要。 ●こうした計画を推進する上では、現場のニーズを拾うとか、効果を測定するとか、開発期間を短くするとか、単独企業では行うことが難しい部分で、行政の仕掛けが欲しい。 ●企業の育成が大事。具体的に成功している企業の事例をしっかりと打ち出し、その部分のネットワークをしっかりと結んでいくべき。 ●製造業以外の人にもわかるように作ってもらいたい。さらに、産業に関わって無い人たちにもわかるようなプランなると良い。 ●目標値では雇用者数を入れてほしい。雇用者数が伸びていけば経済は発展しているということである。